「重症患者対応メディエーター体制」に関する調査対象となる職員の皆さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 （研究番号）	当院における重症患者対応メディエーター（プラチナナース）導入の評価
当院の研究責任者 （所属）	普天間　誠 看護部
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	本研究の目的は、当院で新しく始まった「重症患者対応メディエーター体制」の効果や課題を明らかにし、より働きやすい職場と質の高いチーム医療につなげることです。 具体的には、以下の 3 つのポイントについて調査を行います。 1.医師、看護師、MSW、リハビリスタッフなどの業務負担が減り、職種間の連携がスムーズになったか 2.メディエーターとして働くプラチナナースが、無理なく、やりがいを持って働き続けられる環境になっているか 3.看護管理者（副看護部長）から見て、ベテラン看護師の知識や経験が組織の中でうまく活かされているか
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2026/12/31
調査データ(該当期間)	2026 年 8 月 1 日～2026 年 8 月 31 日の期間の情報
研究の方法 （利用する試料・情報等）	●研究の対象者 本研究の対象となる方は、該当期間に当院に勤務し、本アンケート調査にご協力いただいたスタッフです。 ・多職種の当院に勤務している医師、病棟看護師、MSW（医療ソーシャルワーカー）、退院調整看護師、リハビリテーションスタッフ ・メディエーター当事者（約 3 名）：当院にて重症患者対応メディエーター業務に従事している（または従事した経験のある）プラチナナース ・看護管理者：当院の副看護部長 ●利用する試料・情報 調査用紙（アンケートフォーム）内容記載

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	本研究で得たデータを別の研究で利用する可能性がありますが、その場合は、あらためて倫理審査委員会に審査申請を行います。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名等直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：098-884-5111 担当者：普天間　誠
備考	ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲 で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。ま た、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、上記の連絡先までお申出 ください。その場合でも不利益が生じることはありません。ただし解析・発表後は研究対象から除外することはできません